

ヨコハマ 3 R 夢プランの推進について

1 ごみと資源の総量

(1) 平成 23 年度について

ヨコハマ 3 R 夢プランでは、燃やすごみなどのごみ量に、古紙や缶・びんなどの資源の量も加えた「ごみと資源の総量」の削減を目標としており、平成 23 年度は基準年度の平成 21 年度に比べ 1.5%以上削減を目標としていました。

平成 23 年度のごみと資源の総量を推計すると約 127 万 8 千トンで、平成 21 年度と比べ、約 2 千トン (0.2%) 増加しました。

平成 23 年度 ごみと資源の総量 (推計値) 【単位: トン】

	ごみと資源の総量						
		家庭系			事業系		
		ごみ量	資源化量 ^{※1}		ごみ量	資源化量 ^{※2}	
平成 23 年度	1, 277, 900	927, 100	613, 700	313, 400	350, 800	311, 000	39, 800
平成 21 年度比	2, 456 (0. 2%)	-5, 733 (-0. 6%)	2, 400 (0. 4%)	-8, 133 (-2. 5%)	8, 189 (2. 4%)	-7, 428 (-2. 3%)	15, 617 (64. 6%)
平成 21 年度 (基準年度)	1, 275, 444	932, 833	611, 300	321, 533	342, 611	318, 428	24, 183

・平成 23 年度推計値は、100 トン未満を四捨五入しています。
・() 中の数値は、平成 21 年度との比を示しています。

【項目の説明】

※1 家庭系の資源化量は、行政が回収した資源化量と、資源集団回収の量の合計です。

※2 事業系の資源化量は、学校給食の残さの資源化量と、事業者が生ごみや剪定枝を資源化した量の合計です。

(2) 平成 24 年度について

中期 4 か年計画では「平成 25 年度に平成 21 年度比 3 %以上削減」と定めています。この目標を達成するため、平成 24 年度は中期 4 か年計画の 3 年目であることから、**平成 21 年度比 2. 25%以上削減**を目標として設定します。

2 ごみ処理に伴って発生する温室効果ガス排出量

(1) 平成 23 年度について

ごみ処理に伴って発生する温室効果ガスの平成 23 年度の削減目標は、基準年度の平成 21 年度に比べ 18%以上削減としていました。

平成 23 年度の排出量を推計すると約 25 万 6 千トンで、平成 21 年度と比べ、約 2 万 6 千トン（約 9.2%）減少しました。

平成 23 年度 温室効果ガス排出量（推計値） 【単位：トン-CO₂】

	平成 23 年度 推計値	平成 21 年度 実績	平成 21 年度比
ごみの処理に伴う 排出量（全体）	256,000	282,000	-26,000 (-9.2%)

・1,000 トン未満を四捨五入しています。

(2) 平成 24 年度について

温室効果ガス排出量を平成 21 年度比 18%削減した平成 22 年度実績がありますので、再度**平成 21 年度比 18%以上削減**を目標として設定します。

3 平成 24 年度の取組

平成 24 年度は「**3 R 夢アクションの年**」として、市民・事業者の皆様にご協力いただき、3 R 行動を実践していただくことで、目標達成を目指します。

- (1) リデュース・リユース・リサイクルの具体的な取組の普及啓発
- (2) 分別・リサイクルの更なる徹底
- (3) 地域の多様性に応じた区民の 3 R 行動の促進
- (4) 職員が率先して 3 R 行動を実践